

古文「助詞」総合識別 100題ドリル

対象：高校生・大学受験生 | 著作権：誰でも古典塾 (kotennosensei.com) 無断転載禁止

はじめに

助詞は**6種類**。それぞれ文の中で違う働きをします。このドリルは、傍線部の助詞が**どの種類か**を、ア〜カの6つから選ぶ総合問題です。助動詞まとめドリルの“相方”として、助詞の全体像を総ざらいしましょう。

記号	種類	主な助詞と働き
ア	係助詞	は・も・ぞ・なむ・や・か・こそ (強調・疑問。係り結びを起こす)
イ	格助詞	が・の・を・に・へ・と・より・から・にて・して (体言に付き、文中の役割を示す)
ウ	接続助詞	ば・とも・ど・ども・て・して・で・つつ・ながら (活用語に付き、前後をつなぐ)
エ	副助詞	だに・すら・さへ・のみ・ばかり・など・まで・し・しも (意味を添える)
オ	終助詞	ばや・なむ・もがな・かな・な・そ・かし (文末で気持ちを表す)
カ	間投助詞	や・よ・を (語調を整える。主に和歌)

鉄則 (同じ音でも「接続＝直前の語」で種類が決まる) - 「が」「を」「に」… 体言に付けば**格助詞 (イ)** / 活用語 (連体形など) に付けば**接続助詞 (ウ)**。 - 「して」… 体言に付けば**格助詞 (イ)** (手段・人数) / 連用形に付けば**接続助詞 (ウ)**。 - 「なむ」… 文中で係り結び (連体形で結ぶ) なら**係助詞 (ア)** / 未然形に付いて「～してほしい」なら**終助詞 (オ)**。 - 「な」… 文末で「～するな」と禁止すれば**終助詞 (オ)**。「な～そ」の「そ」も終助詞。

🎯 解き方のコツ

- 傍線部の助詞の**直前の語**を見る (体言か、活用語か。活用語なら何形か)。
- 体言+が・を・に・して → **格助詞 (イ)**。活用語+が・を・に・して → **接続助詞 (ウ)**。
- ぞ・なむ・や・か・こそ・は・も が文中で強調・疑問を表す → **係助詞 (ア)**。
- だに・すら・さへ・のみ・ばかり・など・まで など意味を添える → **副助詞 (エ)**。
- 文末で願望・詠嘆・禁止 (ばや・なむ・もがな・かな・な・そ・かし) → **終助詞 (オ)**。
- や・よ・をが語調・詠嘆 (主に和歌) → **間投助詞 (カ)**。

採点表

部	問題	目標
第1部 基礎	Q1～Q20	18／20
第2部 標準	Q21～Q50	24／30
第3部 応用	Q51～Q80	21／30
第4部 入試	Q81～Q100	13／20

【第1部】基礎（Q1～Q20）

Q1. 次の傍線部「ぞ」の種類は、ア～カのどれか。

> 山里ぞきびしき。

Q2. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

> 月なむ出づる。

Q3. 次の傍線部「や」の種類は、ア～カのどれか。

> これや夢なる。

Q4. 次の傍線部「か」の種類は、ア～カのどれか。

> いづれかよき。

Q5. 次の傍線部「こそ」の種類は、ア～カのどれか。

> 花こそ散れ。

Q6. 次の傍線部「は」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 花は咲く。

Q7. 次の傍線部「の」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 君の家を訪ぬ。

Q8. 次の傍線部「を」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 月を見る。

Q9. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 都に行く。

Q10. 次の傍線部「へ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 山へ登る。

Q11. 次の傍線部「と」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 友と遊ぶ。

Q12. 次の傍線部「より」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 都より来たる。

Q13. 次の傍線部「ば」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 春来れば、花咲く。

Q14. 次の傍線部「ども」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 待てども来ず。

Q15. 次の傍線部「て」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 花咲きて散る。

Q16. 次の傍線部「つつ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 月を見つつ歩く。

Q17. 次の傍線部「だに」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 水をだに飲まず。

Q18. 次の傍線部「のみ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ ただ泣くのみ。

Q19. 次の傍線部「ばや」の種類は、ア～カのどれか。

▶ かの人に会はばや。

Q20. 次の傍線部「かな」の種類は、ア～カのどれか。

> あはれにも悲しき**かな**。

【第2部】標準 (Q21～Q50)

解答：

Q21. 次の傍線部「も」の種類は、ア～カのどれか。

> 花**も**散る。

Q22. 次の傍線部「が」の種類は、ア～カのどれか。

> 君**が**代を祝ふ。

Q23. 次の傍線部「から」の種類は、ア～カのどれか。

> 門**から**入る。

Q24. 次の傍線部「にて」の種類は、ア～カのどれか。

> 舟**にて**渡る。

Q25. 次の傍線部「とも」の種類は、ア～カのどれか。

> たとひ散るとも**惜しま**じ。

Q26. 次の傍線部「ど」の種類は、ア～カのどれか。

> 呼べ**ど**答へず。

Q27. 次の傍線部「で」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 物も言は**で**、ただ泣く。

Q28. 次の傍線部「ながら」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 笑ひ**ながら**語る。

Q29. 次の傍線部「すら」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 大人**すら**惑ふ。

Q30. 次の傍線部「さへ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 雨に風**さへ**吹く。

Q31. 次の傍線部「ばかり」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 三日**ばかり**経たり。

Q32. 次の傍線部「など」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 花**など**見て遊ぶ。

Q33. 次の傍線部「もがな」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 心知れる友**もがな**。

Q34. 次の傍線部「な」の種類は、ア～カのどれか。

▶ ゆめゆめ忘るな。

Q35. 次の傍線部「かし」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 心して行けかし。

Q36. 次の傍線部「まで」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 夜更くるまで待つ。

Q37. 次の傍線部「ぞ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ われぞ知る。

Q38. 次の傍線部「こそ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 君をこそ待て。

Q39. 次の傍線部「の」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 花の散るを惜しむ。

Q40. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 暁に鳥鳴く。

Q41. 次の傍線部「と」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 花と散る。

Q42. 次の傍線部「て」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 笑ひて言ふ。

Q43. 次の傍線部「ば」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 風吹かば、散りなむ。

Q44. 次の傍線部「や」の種類は、ア～カのどれか。

▶ あな、うれしや。

Q45. 次の傍線部「ながら」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 涙を流しながら語る。

Q46. 次の傍線部「のみ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 春をのみ待つ。

Q47. 次の傍線部「だに」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 影だに見えず。

Q48. 次の傍線部「ばや」の種類は、ア～カのどれか。

▶ いざ、都へ行か**ばや**。

Q49. 次の傍線部「かな」の種類は、ア～カのどれか。

▶ うれしき**かな**、この便り。

Q50. 次の傍線部「よ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 月**よ**、いかに見るらむ。

【第3部】 応用 (Q51～Q80)

解答：

Q51. 次の傍線部「が」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 梅**が**枝に鶯みる。

Q52. 次の傍線部「が」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 待ちつる**が**、つひに来ず。

Q53. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 野**に**出でて遊ぶ。

Q54. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 門を出づる**に**、雨降りきぬ。

Q55. 次の傍線部「を」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 文をこまやかに書く。

Q56. 次の傍線部「を」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 頼むを、つれなくも音せず。

Q57. 次の傍線部「して」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 二三人して詣でけり。

Q58. 次の傍線部「して」の種類は、ア～カのどれか。

▶ あはれにして、涙とどまらず。

Q59. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 花なむ散りにける。

Q60. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 早く花咲かなむ。

Q61. 次の傍線部「ばや」の種類は、ア～カのどれか。

▶ いま一度ふるさとを見ばや。

Q62. 次の傍線部「こそ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 命こそ惜しけれ。

Q63. 次の傍線部「だに」の種類は、ア～カのどれか。

▶ せめて夢にだに見えよ。

Q64. 次の傍線部「すら」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 賢き人すら惑ふ。

Q65. 次の傍線部「さへ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 雨に、風さへ添ひぬ。

Q66. 次の傍線部「ど」の種類は、ア～カのどれか。

▶ いくたびも呼べど、答へなし。

Q67. 次の傍線部「とも」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 死ぬとも、屈せじ。

Q68. 次の傍線部「で」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 物をも食はで過ごす。

Q69. 次の傍線部「より」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 山より出づる月を待つ。

Q70. 次の傍線部「にて」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 道にて思はぬ人に会ふ。

Q71. 次の傍線部「ぞ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ これぞ求めし宝なる。

Q72. 次の傍線部「や」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 知るや知らずや、人の心。

Q73. 次の傍線部「な」の種類は、ア～カのどれか。

▶ ゆめ、人を疑ふな。

Q74. 次の傍線部「そ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ な散りそ、春の花。

Q75. 次の傍線部「かし」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 必ず来べきかし。

Q76. 次の傍線部「しも」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 折しも、時雨降りきぬ。

Q77. 次の傍線部「のみ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ ひとりのみ、山に住む。

Q78. 次の傍線部「ばかり」の種類は、ア～カのどれか。

▶ ただ泣くばかりなり。

Q79. 次の傍線部「よ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ あはれ、はかなき世よ。

Q80. 次の傍線部「や」の種類は、ア～カのどれか。

▶ あな、おもしろや。

【第4部】入試 (Q81～Q100)

解答：

Q81. 次の傍線部「ぞ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 山里は冬ぞさびしさまさりける。

Q82. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 都には春なむ来にける。

Q83. 次の傍線部「が」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 日は照りたる**が**、風はげしく吹く。

Q84. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 都を出づる**に**、名残こそ惜しけれ。

Q85. 次の傍線部「を」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 頼みつる**を**、つれなくて過ぎぬ。

Q86. 次の傍線部「だに」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 光**だに**漏れ来ず。

Q87. 次の傍線部「さへ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 病に、貧しさ**さへ**加はりぬ。

Q88. 次の傍線部「ば」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 秋来ぬれば、木の葉も色づく。

Q89. 次の傍線部「とも」の種類は、ア～カのどれか。

▶ いか**に**迫ると**も**、心は折れじ。

Q90. 次の傍線部「もがな」の種類は、ア～カのどれか。

▶ この嵐とどむる風ももがな。

Q91. 次の傍線部「ばや」の種類は、ア～カのどれか。

▶ いま一度、花の都を見ばや。

Q92. 次の傍線部「かな」の種類は、ア～カのどれか。

▶ しづ心なく花の散るかな。

Q93. 次の傍線部「の」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 君の来べき宵なり。

Q94. 次の傍線部「と」の種類は、ア～カのどれか。

▶ 旧き友と、夜もすがら語らふ。

Q95. 次の傍線部「こそ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ ただ神にこそ祈りつれ。

Q96. 次の傍線部「のみ」の種類は、ア～カのどれか。

▶ ただ過ぎし日をのみ思ふ。

Q97. 次の傍線部「て」の種類は、ア～カのどれか。

> 花咲きて、鳥また歌ふ。

Q98. 次の傍線部「なむ」の種類は、ア～カのどれか。

> とく春の来なむと待つ。

Q99. 次の傍線部「よ」の種類は、ア～カのどれか。

> あはれ、過ぎにし古よ。

Q100. 次の傍線部「に」の種類は、ア～カのどれか。

> 春の野にすみれを摘む。

採点と振り返り

部	問題数	あなたの正答数
第1部 基礎	20	/20
第2部 標準	30	/30
第3部 応用	30	/30
第4部 入試	20	/20
合計	100	/100

まちがえた問題は、次の3点にもどって確認しましょう。

1. **直前の語を見る。** 体言に付く「が・を・に・して」は格助詞（イ）、活用語に付くものは接続助詞（ウ）。
2. **係り結びを確認。** 「ぞ・なむ・や・か」は連体形、「こそ」は已然形で結ぶ係助詞（ア）。
3. **文末の気持ちを読む。** 願望・詠嘆・禁止（ばや・なむ・もがな・かな・な・そ・かし）は終助詞（オ）。「や・よ・を」が語調を整えるなら間投助詞（カ）。

迷った助詞は、個別の識別ドリル（「に」「が」「して」など）に戻って復習しましょう。助詞の種類が見抜ければ、文の構造が一気に見えてきます。

解答：

© 個別指導塾フィット / 中本裕太 <https://kotenosenensei.com>